

単独支援給付金・事業計画書(単独病床機能再編計画)

| | | | |
|----------|---|--------|--------------------------|
| 1 申請者の情報 | | 申請年月日 | 令和4年12月13日 |
| フリガナ | ヤマダチケンコウセイノキョウキョウトウカミアレンコウカイ ナカトソウゴウビョウイン | 住所・所在地 | 〒759-4194 長門市東深川185番地 |
| 病院等の名称 | 山口県厚生農業協同組合連合会 長門総合病院 | | |

2 病床削減の概要(予定含む)

<許可病床数>

| | | 高度急性期 | 急性期 | 回復期 | 慢性期 | 休棟等 | 合計 | うち対象3区分の合計※2 |
|---|---|-------|-----|-----|-----|-----|-----|--------------|
| | | | | | | | | |
| 1 | ①平成30年度病床機能報告における許可病床数 | 0 | 210 | 38 | 53 | | 301 | 263 |
| | ②平成30年度報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更があった場合はその許可病床数 ※1 | 0 | 204 | 40 | 53 | | 297 | 257 |

※1 平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は記載不要
また、令和2年4月1日時点で病床数の変更があった場合も記載不要

※2 対象3区分＝高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

<稼働病床数>

| | | 高度急性期 | 急性期 | 回復期 | 慢性期 | 休棟等 | 合計 | うち対象3区分の合計 |
|---|---|-------|-----|-----|-----|-----|-----|------------|
| | | | | | | | | |
| 2 | ①平成30年度病床機能報告における稼働病床数 | 0 | 210 | 38 | 53 | | 301 | 263 |
| | ②平成30年度報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更があった場合はその稼働病床数 ※3 | 0 | 204 | 40 | 53 | | 297 | 257 |

※3 平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は記載不要
また、令和2年4月1日時点で病床数の変更があった場合も記載不要

<病床削減後の許可病床数>

| | | 高度急性期 | 急性期 | 回復期 | 慢性期 | 休棟等 | 合計 | うち対象3区分の合計 |
|---|-------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|------------|
| | | | | | | | | |
| 3 | 病床削減後の許可病床数 | | 159 | 40 | 53 | | 252 | 212 |

<他の医療機関との病床融通>

| | | 高度急性期 | 急性期 | 回復期 | 慢性期 | 対象3区分の合計 |
|---|------------------|-------|-----|-----|-----|----------|
| 4 | 他の医療機関との病床融通数 ※4 | | | | | 0 |

※4 病院統合や地域医療連携推進法人の病床融通制度等を活用し、他の病院等へ病床が移転しようとする場合に記載すること。
また、「(参考)病床移転にかかる概要」に関連する病院等の病床数を記載すること。

<対象3区分から回復期又は介護医療院へ転換した病床数>

| | | 回復期 | 介護医療院 | 合計 |
|---|----------------------------|-----|-------|----|
| 5 | 削減病床のうち、回復期又は介護医療院へ転換した病床数 | | | 0 |

<年間在棟患者延べ数(人)>

| | | 高度急性期 | 急性期 | 慢性期 | 合計 |
|---|---|-------|--------|--------|--------|
| 6 | ①平成30年度病床機能報告における対象3区分の病棟の年間在棟患者延べ数(人) ※5 | 0 | 57,601 | 16,954 | 74,555 |
| | ②令和2年4月1日時点年間在棟患者延べ数(人) ※6・7 | | 55,014 | 16,569 | 71,583 |

※5 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間在棟患者延べ数＝年間在棟患者延べ数((48)欄に記載された数値)×12÷報告可能な対象期間(月単位)

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とする。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成29年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位)＝6

※6 平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は記載不要

また、令和2年4月1日時点で病床数の変更があった場合も記載不要

※7 平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がある場合は、変更後令和2年4月1日までの在棟患者延べ数を※5を参考に算定して計上すること(令和2年4月1日時点で病床数の変更があった場合は記載不要)。

3 病棟別内訳(予定含む)

【変更前の状況(R2.4.1まで)】

| 変更前 | 病棟別内訳 (病床機能報告から転記) | 病棟の名称 | 算定する入院基本料 ・特定入院料 | 病床機能 | 許可病床数 | 稼働病床数 |
|-----|-----------------------|--------|---------------------|------|-------|-------|
| | | ①西2階病棟 | 急性期一般入院料1 | 急性期 | 56床 | 56床 |
| | | ②西3階病棟 | 急性期一般入院料1 | 急性期 | 59床 | 59床 |
| | | ③東3階病棟 | 急性期一般入院料1 | 急性期 | 30床 | 30床 |
| | | ④4階病棟 | 急性期一般入院料1 | 急性期 | 59床 | 59床 |
| | | ⑤5階病棟 | 療養病棟入院料1 | 慢性期 | 53床 | 53床 |
| | | ⑥本3階病棟 | 地域包括ケア病棟入院料2 | 回復期 | 40床 | 40床 |
| 計 | | | | | 297床 | 297床 |

※ 平成30年度の病床機能報告を転記することを原則とするが、平成30年度の報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数等に変更がある場合は変更後の病床数等を記載すること。ただし、令和2年4月1日時点で変更があった場合は、変更前の病床数等を記載すること。



【令和5年度】

| R5 年度 | 病棟別内訳 | 病棟の名称 | 算定する入院基本料 ・特定入院料 | 病床機能 | 許可病床数 | 変更(予定)時期 ※変更がある場合 |
|----------|-------|--------|---------------------|------|-------|----------------------|
| | | ①2階病棟 | 急性期一般入院料1 | 急性期 | 50床 | 5年 10月 |
| | | ②3階病棟 | 急性期一般入院料1 | 急性期 | 56床 | 5年 10月 |
| | | ③4階病棟 | 急性期一般入院料1 | 急性期 | 53床 | 5年 10月 |
| | | ④5階病棟 | 療養病棟入院料1 | 慢性期 | 53床 | 年 月 |
| | | ⑤本3階病棟 | 地域包括ケア病棟入院料2 | 回復期 | 40床 | 年 月 |
| 計 | | | | | 252床 | |



【令和6年度以降】(変更がない場合や計画が未定の場合は、「以後変更なし」「未定」等と記載のこと)

| | | 病棟の名称 | 算定する入院基本料 ・特定入院料 | 病床機能 | 許可病床数 | 変更(予定)時期 ※変更がある場合 |
|----------|-------|-------|---------------------|------|-------|----------------------|
| R6 年度 | 病棟別内訳 | ① | 変更なし | | | 年 月 |
| | | ② | | | | 年 月 |
| | | ③ | | | | 年 月 |
| | 計 | | | | | 床 |
| R7 年度 | 病棟別内訳 | ① | 変更なし | | | 年 月 |
| | | ② | | | | 年 月 |
| | | ③ | | | | 年 月 |
| | 計 | | | | | 床 |

※病棟別内訳の数が不足する場合は適宜追加すること。
※計画完了時には「休棟等」がすべて削除され、存在しない状態となっていること。

病床削減が地域医療構想の実現に資するものであることの説明資料

対象医療機関名 山口県厚生農業協同組合連合会 長門総合病院

| 1 地域の状況 | | |
|-----------------------------|--|---|
| 地域の現状と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・長門医療圏には、三次救急医療機関がなく、高度急性期機能が不足していることから、圏域外との医療機関連携を強化するとともに、一定程度の高度急性期・急性期医療は圏域で対応できる体制が必要です。 ・地域医療構想における2025年の必要病床数に対して、令和3年度病床機能報告では高度急性期は29床不足する一方、急性期は217床過剰となり、急性期病床の削減と合わせて、高度急性期にも対応できる急性期病床が必要です。 | |
| 2 自施設の状況 | | |
| 自施設の現状(変更前) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域がん診療病院、地域災害拠点病院、感染症指定医療機関の指定を受けているほか、救急医療・周産期医療・小児医療においても圏域の中核を担っています。また、圏域の基幹病院として地域の医療機関と連携をとり、急性期医療・回復期医療・慢性期医療・在宅医療を担っています。 ・このような圏域での当院の役割・機能から、県の医療機能分化連携推進事業費補助金(急性期施設設備整備)などの支援を受け、平成31年1月から令和3年7月の間で実施した病棟増改築工事で、救急室・検査科・内視鏡室・手術室・一部の外来診療科を充実し、救急医療・急性期医療・周産期医療・小児医療の機能強化を行いました。同時に地域医療構想の実現のため、過剰である急性期病床を6床削減し、不足する回復期病床を2床増やしています。 | |
| 病床数の見直し | 見直しの考え方 | <ul style="list-style-type: none"> ・圏域の医療需要の減少に伴い、急性期病床の稼働率が低下しており、地域医療構想に沿った急性期病床の削減を行うとともに、病棟再編により、限られた医師や看護師等の医療資源を集約し、持続可能かつ効率的で質の高い急性期医療を確保します。 ・具体的には、前回の病棟増改築工事で主に急性期医療の機能強化を行ったところですが、このたびの病棟再編では、医療資源の集約により、当該機能強化の効果を最大限発揮するとともに、当院の役割である周産期医療と小児医療の病棟を充実させ、更なる機能強化を行います。地域の周産期と小児の医療需要は縮小していきませんが、今後も当院が基幹病院として担うべき役割であると考えています。 |
| | 対象の病棟・病床の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・削減: 西2階病棟56床→50床、4階病棟59床→53床 ・病棟合併+削減: 西3階病棟59床+東3階病棟30床→3階病棟56床 ・全て急性期病床で急性期一般入院料1を算定しています。 |
| | 入院患者への対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・今までと変わらず、急性期医療が必要な患者は2階、3階、4階の急性期病床で治療を行い、急性期の医療は終わったが、まだ退院までは期間を要す患者は本3階の回復期病床へ転棟を行います。また圏域の医療機関、施設と連携をとり、退院患者の転院を円滑に行います。 ・改修を計画する周産期医療と小児医療の病棟は、病室の個室化を行って療養環境を整えます。 |
| 3 病床削減が地域医療構想の実現に資するものである理由 | | |
| 理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・長門医療圏で2025年に過剰が予測される急性期病床を削減するもので、病床数は減少しますが、削減と合わせて病棟再編を行い、周産期医療と小児医療の機能を充実強化します。限られた医療資源を効果的に運用し、高度急性期にも対応できる急性期病床の機能強化を行うもので、地域医療構想の実現に資するものであると考えています。 | |

【参考】対象区分別の削減(計画)病床数

| 対象区分 | R4 | | R5 | | R6 | R7 | 計 |
|-------|----|------|------|-------|----|----|------|
| | | 変更時期 | | 変更時期 | | | |
| 高度急性期 | | | | | | | |
| 急性期 | | | △ 45 | R5.10 | | | △ 45 |
| 慢性期 | | | | | | | |
| 合計 | | | △ 45 | | | | △ 45 |

【参考: R3病床機能報告(長門保健医療圏の状況)】

| 病床区分 | | 高度急性期 | 急性期 | 回復期 | 慢性期 | 休棟・廃止予定 | 介護保険施設移行予定 | 合計 |
|-----------------|--------------|-------|-----|------|-----|---------|------------|-----|
| 報告 | ①R3(2021)現状 | | 366 | 40 | 135 | 21 | — | 562 |
| | ②R7(2025)予定 | | 366 | 40 | 125 | 31 | — | 562 |
| 構想 | ③R7(2025)必要数 | 29 | 149 | 131 | 128 | — | — | 437 |
| ④構想との差(R3)(①-③) | | △ 29 | 217 | △ 91 | 7 | 21 | — | 125 |
| ⑤構想との差(R7)(②-③) | | △ 29 | 217 | △ 91 | △ 3 | 31 | — | 125 |